

専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典

夢と技術 彩の国から未来へ

第31回全国産業教育フェア埼玉大会

専門高校等の生徒による
学習成果発表の祭典

令和3年

10月30日(土)



さんフェア埼玉 2021



開催期日 令和3年 10月30日(土)

会場 ウェスタ川越、埼玉県立川越総合高等学校

参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室

令和3年10月30日(土)、全国の専門高校等で学ぶ生徒が日頃の学習成果を発表する、「第31回全国産業教育フェア埼玉大会」がオンラインにて開催されました。埼玉大会では、「夢と技術 彩の国から未来へ」をキャッチコピーに、魅力ある産業教育の取組を埼玉県から発信することができました。

オープニングアトラクションでは、埼玉県立秩父農工科学高等学校秩父屋台囃子保存部による秩父屋台囃子、埼玉県立熊谷商業高等学校バトン部による演舞が行われました。秩父屋台囃子の迫力のある太鼓の音や笛の音色、バトン部の演舞では、活気あふれる生徒の動きや、「さんフェアさいたま2021」の文字が音楽のリズムにのって見事に表現され、華やかなものとなりました。閉会式典では、生徒実行委員会委員長が大会引継ぎメッセージを行い、次期開催県である青森県の生徒実行員会に引き継がれました。その後、生徒実行委員会によるメモリアルアトラクションを行い、「コバトン音頭」や「旅立ちの日に」の合唱、2年間の生徒実行委員会の活動の軌跡をスライドショーで流し、感動

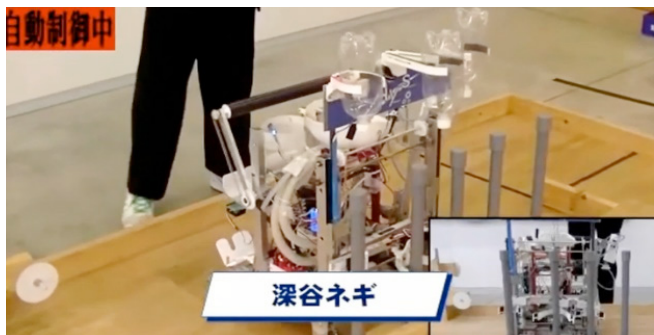
的なフィナーレとなりました。

埼玉県独自の催事として、彩の国商業高校生渋沢栄一シンポジウム、全国商業高校生リテールマーケティング・コンテストなどを実施しました。彩の国商業高校生渋沢栄一シンポジウムでは、埼玉県の商業高校生が、夏季休業等を利用して渋沢栄一記念館や渋沢資料館、埼玉県立文書館にて調査研究を行い、その研究成果を発表しました。また、リテールマーケティング・コンテストでは、全国から16校が参加し、マーケティングに関するクイズで得点を競い合いました。

全国の競技会については第20回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト、第29回全国高等学校ロボット競技大会など、全国規模の競技会をオンラインで行いました。フラワーアレンジメントコンテストでは、各校で事前に製作した作品を提出し、大会当日に審査及び表彰を行い、ロボット競技大会では、埼玉の観光名所や特産品にちなんだコースで得点を競いました。今大会では、オンラインでの開催となったため、完成度確認用動画、ポート、プレゼンテーション動画など総合的に審査し、順位を決定しました。



< 秩父農工科学高等学校による秩父屋台囃子 >



< 全国高等学校ロボット競技大会の様子 >

「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業及び地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）発表会」では、文部科学省の研究指定校で学ぶ生徒たちによる実践内容や事業を通して学んだ成果等についての動画形式での配信とオンライン協議が行われ、専門高校の優れた教育活動と生徒たちの学習成果を視聴者に伝えることができました。



< 文部科学省事業発表会オンライン協議の様子 >

11月中旬までの期間限定で行った特設ネットショップによる「ネット販売」では、全国の専門高校等の生産物や実習取扱い商品を販売し、一部の商品が売り切れるなど大きな盛り上がりを見せました。

また、特設ホームページにて、開閉会式典の様子やステージ発表動画、全国の専門高校から応募された「作品・研究発表」、「意見・体験発表」・「文部科学省事業発表」の発表動画など、様々なコンテンツを配信しています。動画は令和4年3月31日（木）まで配信されていますので、産業教育の学習成果や魅力をぜひご覧ください。

本大会の開催にあたっては、埼玉県内の専門高校生による生徒実行委員会が中心となり準備が進められました。新型コロナウイルス感染症の拡大という状況の中での準備や運営を通じ、生徒たちはチャレンジ精神やコミュニケーション

力、課題解決能力など、将来のスペシャリストとして必要な様々な力を養うことができました。高校生たちの熱い思いや希望は、しっかりと次期開催県である青森県の高校生に引き継がれました。



< 生徒実行委員の活動の様子 >

次回第32回大会は、青森県青森市の「新青森県総合運動公園マエダアリーナ」を主会場に、令和4年10月15日（土）、16日（日）に開催される予定です。

最後に、本大会の実施に御尽力いただいた多くの方々に厚く御礼申し上げますとともに御参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。